



# あすもりサポーター通信



## 第6回コープの森植樹祭報告

### 「Fの森」の森づくりがスタートしました。

6月1日(土)、「第6回コープの森植樹祭」が開催されました。会場は当別道民の森・神居尻地区「水源の森」にあります。植樹祭当日はこれまでにない好天に恵まれ、総勢230名(大人185名、子ども45名)の参加で行いました。

今回植樹した「Fの森」は昨年1年間かけて、どんな森にするかプランを練ってきたエリアです。「Fの森」看板の除幕式、植え方指導の後、いよいよ植樹本番です。プランに沿って植える苗木は21種と多く、これまでにないモザイク状の植え方でしたので、スムーズに植樹できるか心配でしたが、1000本の植樹もあっという間に終了。子ども用スコップを持参された家族も多く、子どもたちはもっと植えたい様子でした。

午後からは、1～3号車の親子コースは道民の森管理事務所の梅井敏則さんを先生に、「ネイチャーゲーム」を楽しみました。聴診器を使って樹液の流れる音をきいたり、動物当てクイズや生き物調べなど、子どもたちが目を輝かせて参加していました。



4・5号車の大人コースは、NPO法人もりねっと北海道の山本牧さんの「森を育てる」ことについてお話しを聞いた後、昨年まで植樹していた「Aゾーン」の育樹作業を行いました。例年ですと、植樹祭の前に育樹と雪折れで傷んだ苗木の補定作業をしますが、今年は雪どけが遅れたため、参加したみなさんに作業していただきました。育樹を体験することで、植樹は「はじめの一步」で、そのあとの「育てる」作業が大切であることを身をもって理解していただけたと思います。

参加者アンケートでは「50年後、100年後、どんな森になっているか楽しみ」「来年も参加したい」などの声が多く寄せられました。



## 「林業体験教室」に行こう！

(一財)北海道森林整備公社が主催する教室です。今年度の「Fの森WS」の第2回目として、森林調査やつる切り除伐作業体験を行います。JR札幌駅北口発着の送迎バスが出ます。みなさん、ふるってご参加ください。

**開催日時：**2013年7月6日(土) 8:15 JR札幌駅北口に集合(送迎バス発車8:30)  
10:30 現地活動時間(道民の森、14:30まで)  
16:00 JR札幌駅北口で解散

**開催場所：**道民の森「神居尻地区:水源の森」(Fの森ほか)

- 内容：森林調査、つる切り、除伐作業の体験など
- 参加費：無料
- 持ち物：昼食・雨具
- 申込方法：チラシをFAXするか、必要事項を記入したハガキでお申し込みください。
- お申し込み・お問合せ先：〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1 林業会館2階  
一般財団法人 北海道森林整備公社(担当:倉下)  
FAX 011-261-3758、電話 011-281-4241
- 申込締切：2013年6月20日(木)当日消印有効
- 募集定員：50名(応募者多数の場合、先着順) ※6月末頃に、参加整理券を発送予定。
- 主催：一般財団法人 北海道森林整備公社



昨年行われた、Fの森ワークショップ



2013年度のワークショップがスタートしています。

# Fの森 & むかわ回復の森

植樹祭が無事終了しました。「Fの森」のデザインと、今年の植樹のプランをつくった「Fの森」メンバーもほっと一息。たくさんの方の参加で、未来に届ける森づくりが実現の第一歩を踏み出しました。森づくりメンバーによる活動は、今年もすでにスタートしています。

## 4/20(番外編ワークショップ) 新・森づくりフィールド、むかわ町の森を視察

今年は、Fの森に加えて、森づくりの技術や森林の活用を学ぶ体験の場として、むかわ町の森の活動が加わります。4月に、むかわ町の森がどんな森で、健やかな森に育てるためにどんな作業が必要か、現地を視察しました。ゲストの北海道大学・中村太士先生の「海・川・森のつながり」についての勉強会や、むかわ町役場の担当者のみなさんと、森づくりのルールや活動内容のディスカッションもあり、盛りだくさんな一日。新しいフィールドでの活動、楽しみです。



むかわ町の森視察

10年前に伐採した森、現在は切り株から細い枝が等(ホウキ)のように出ています。林床にはフクジュソウ、ナニワズなど春の花々も。



植樹祭のスタッフミーティング

当日のスケジュールや役割を確認。Fの森についてみなさんにお話するので、やや緊張気味?

## 5/19(2013第一回ワークショップ) Fの森での植樹祭スタッフミーティング

この日はFの森で6/1の植樹祭のための準備を行う予定でしたが、道民の森の雪解けが遅く、現地作業は断念!残念!!メンバーは、植樹祭当日、バスの中で参加者のみなさんに、自分たちがつくった森のデザインについて、方針や樹種、森づくりの思いを伝える役割と、植樹会スタッフの役割をします。そこで、組合員活動のリーダーのみなさんといっしょにスタッフミーティングを行いました。当日の役割や、Fの森についてお話するポイントの確認を行い、当日に備えました。植樹祭に参加したみなさん、Fのメンバーの熱いメッセージはみなさんの心に届きましたか?

■ 2013年のワークショップ参加メンバーを募集中です。詳しくは基金事務局へお問合せください。

## あすもり基金 助成団体紹介 (2011・2012年度小額助成)

### 間伐ボランティア 札幌ウディーズ 活動拠点 / 札幌市とその近郊

2001年に「荒れた北海道の森を救おう」と設立されました。設立当時の北海道の森は、高度成長期に盛んに植えられたマツが手入れされずに放置されたあげく、ひよろひよとやせた木ばかりの「モヤシ林、線香林」が目立ち、豊かとはいえない状況だったそうです。

以来12年間、「人の手が加われば、森は大きく美しく育つ」をモットーに手入れ活動を行っています。活動のメインは植林や下草刈り、枝打ち、間伐などの「森を育て、甦(よみがえ)らせる作業」です。民有林や公有林、企業林など、森づくりをまかされて手入れをした山林は60か所以上にのびます。林業技術や安全作業の講習会を定期的に行い、林業機械の扱いに慣れていることから、他団体や高校、大学に依頼されて、活動をサポートする機会も数多くあります。さらに、森のあるべき姿を提案し、森づくりの環を広げることも大切と考え、自然観察会やセミナーで学んだ知識や日々の活動のようすを、ホームページや会報で活発に発信しています。



ホームページ <http://sapporo-woodies.org/>

## あすもり事務局から

コープ未来の森づくり基金では2009年から、北海道の森づくりにとりくむ団体を資金応援する助成制度を設けています。春になると、前年度に助成した団体さんから活動報告書が届きます。今年も、熱い思いがこもった14の報告書が届きました。植育樹の実践や森のプランづくり、住宅や玩具など木材活用の普及啓発、森の観察方法や遊びかたを伝える環境教育など、さまざまな団体が北海道の森をささえています。

今年の助成金応募受付は8月から。詳細はホームページでご案内します。

<http://www.coop-sapporo.or.jp/contents/view/id/219#a-02>

あすもりのドングリマークを真ん中に入れたQRコードが出来ました。



携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、あすもりのFacebookページを開くことができます。

<https://www.facebook.com/coop.asumori>

## 森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

### 「チェロの木」

著者(絵・文):伊勢 英子(いせ ひでこ)  
発行元:株偕成社



森で木を育てる祖父、楽器職人の父、音楽にめざめていく少年が登場します。すてきな色彩で描かれた森の季節や風景、そして、木から楽器になっていくようす、楽器になったチェロが奏でる音などのなかから、木の命や人々とのつながりを感じます。

札幌市出身の伊勢さんは自身もチェロを弾くことから、「絵と音楽の結婚」のような絵本が描きたかったそうです。木にひかれ、スケッチ帖は木々でいっぱいという伊勢さん。植物学者と少女の出会いを描いた「大きな木のような人」(講談社発行)もおすすめです。